

## 高齢者のスポーツ活動に関する一考察

— ママさんバレーボール「ことぶき大会」参加者を対象として —

徳永 敏文

ママさんバレーボール「ことぶき大会」参加者の特徴として以下のことが明らかになった。

学生時代での部経験者が多く、また、4分の3の者が結婚後すぐにママさんバレーを始めている。バレー経験が長く、バレーボールが楽しくて仕方のない人たちがこの大会に参加しているように思われる。

しかし、必ずしも健康状態に問題の無い人たちばかりではない。

大会があることによってバレーをする“大義名分”が出来る。「いそじ大会」, 「ことぶき大会」の存在は彼女らがバレーボールをすることの強い味方になっている。

他県の選手との交流意識は高くない。どちらかと言うと、仲間内で数日間同じホテルに宿泊し親交を深めることを大切にしている人々が多い。

地域の違いを見ると、『関東』, 『東海・関西』などのいわゆる都会のママさんの方がよりバレーボール活動を含めた余暇活動を楽しんでいるように思える。

Keywords : ママさんバレーボール, 高齢者, ことぶき大会, ライフスタイル

はじめに

平成17年に日本の社会は65歳以上が2割を超え超高齢社会に入った。高齢者は今後ますます増加すると推計されている。老後の理想的な生き方とは配偶者や子供たち(血縁)と、さらには地域の人々(地縁)や気の置けない仲間たち(好縁)と楽しくいろんな活動をし、コミュニケーションをとりお互いに支え、支えられて生きることであろう。そのための必要条件としてまず、健康であることが大切である。

高齢者が健康であるためにはそれなりの運動をし、体力を高める必要がある。そこで厚生労働省は「健康日本21」という国民健康づくり運動を2000より2012年までの12年計画で始めている。その内容は「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)」の「趣旨」, 「基本的な方向」, 「目標」, 「地域における運動の推進」などについて、その概要を解説するとともに各分野の数値目標を掲載している。このような状況の中で、レジャー白書(レジャ

ー白書2007 社会経済生産性本部)によれば高齢者のスポーツ活動は年々増加の傾向があるが、多くはウォーキング, 体操など、仲間とのつながりやゲーム性の少ないもので、スポーツというより身体運動と呼ぶべきものがほとんどである。しかし、できればそのような身体運動だけではなく、仲間と楽しくスポーツをすることにより、結果としてそのことが健康のためだけではなく、こころの充実にもなり、地域の他の人々とのよりよい人間関係をも作るようになるような文化性の高いスポーツ活動が望ましい。

高齢者のスポーツ活動として、家庭婦人バレーボールにおける50歳以上の「いそじ大会」, 60歳以上の「ことぶき大会」は高齢者のスポーツ活動として特異な存在である。60歳を超えてもなおバレーボールというスポーツをするその原動力は何なのか。どのような気持ちでバレーボールを行っているのだろうか。健康面や、けがの心配はないのであろうか。地域や仲間との関係はどうであらうか。

---

岡山大学教育学部保健体育講座 700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

A study of elderly women's sport activity - Focus on participants in the women's volleyball meeting -  
Toshifumi TOKUNAGA

Health and Physical Education Course, Department of School Education, Okayama University 3-1-1 Tsushima-naka, Kita-ku, Okayama 700-8530

このようなことを明らかにするために、今回平成19年10月に岡山市で行われた第12回全国家庭婦人バレーボール「ことぶき大会」への参加者を対象にアンケート調査を行い、60歳を超えてもなおバレーボールというスポーツを行っている人々の実態を把握しようとした。

## 2. 方法

調査は、質問紙法によって行われた。調査対象は、第12回「全国家庭婦人バレーボール ことぶき大会」参加チームであり、大会期間中に各クラブに調査用紙を配布し、後日回収する方法を取った。

## 3. 調査期間

平成19年10月26日～10月28日

## 4. 回収率

回収率は全国からの参加チーム数92チームに対し、86チームで、93.5%であった(表1)。

表1 回収率

	参加チーム数	回収チーム数	回収率
N	92	86	93.50%

## 調査結果と考察

調査対象者を1. 北海道・東北 2. 関東 3. 北陸・甲信越 4. 東海・関西 5. 中国・四国・九州 の4つの地域に分けてそれぞれの項目をこれら4つの地域とのクロス分析を試みた<sup>注1)</sup>。事前の

分析として、それぞれのブロック内のチーム、地域間の相違よりも他地域との相違の方が大きい場合が多い(それぞれの地域で地域特性が見られる)、ことが確認されている。

## I. 基礎項目

### 1. 年齢

年齢は出場資格60歳以上ということで、各地域間に差は見られなかった。全体の平均は64.4歳であった(表2)。

表2 年齢

	平均年齢	標準偏差	計
北海道・東北	63.9	3.26	127
関東	64.5	3.58	223
北陸・甲信越	64.7	3.94	122
東海・関西	64.0	3.63	216
中・四・九	64.7	3.68	260
計	64.4	3.63	948

### 2. 家族構成

夫婦2人という者が最も多く全体では46.7%であった。次に、夫婦と子供同居で37.6%であった。地域間では、『中・四・九』地域で夫婦2人という核家族が多く、『北陸・甲信越』で夫婦、子供同居が多い傾向にあった(表3)。

### 3. 職業

職についている者15.5%、パート25.7%で、約4割の者が何らかの仕事をしている(表4)。職業に

表3 家族構成

	一人	夫婦2人	子どもも一緒	その他	計
北海道・東北	7.0	45.7	38.0	9.3	129
関東	2.6	43.2	41.4	12.8	227
北陸・甲信越	4.1	35.2	45.9	14.8	122
東海・関西	6.4	46.6	37.4	9.6	219
中・四・九	5.4	55.6	30.1	8.9	259
計	5.0	46.7	37.6	10.8	956

P<0.05

表4 職業

	職についている	パート	無職	その他	計
北海道・東北	13.6	18.4	59.2	8.8	125
関東	14.5	30.8	43.4	11.3	221
北陸・甲信越	22.5	20.8	37.5	19.2	120
東海・関西	10.5	28.6	47.1	13.8	210
中・四・九	18.1	24.8	44.5	12.6	254
計	15.5	25.7	45.9	12.9	930

P<0.01

ついている者は『北陸・甲信越』に多く、無職のものは『北海道・東北』に多くみられた。

#### 4. 運動部経験

学生時代の運動部経験は、中学時代でバレー部に入っていた者が60%を超える。その他の部に入っていた者約20%で、中学時代の部経験者は80%を超えた(表5-1)。特に『関東』では67.9%と多く、逆に『北陸・甲信越』では52.1%と少なかった。

高校時代でバレー部所属者は各地域とも50%前後であった(表5-2)。

学生時代のバレーボール経験、部活経験がママさんバレーの活動に影響していると思われる。

#### 5. 過去の怪我

3分の2の者が過去にバレーボールによる怪我で医者にかかった経験があり、足首、膝、手の順に多い(表6)。「北陸・甲信越」、『関東』に過去に怪我のある者が多い。

#### 6. 現在の調子の悪いところ

半数弱の者が現在でも調子が悪いところがあり、一番多いのは膝であった(表7)。特に『北海道・

表5-1 中学運動部経験

	バレー部	その他の部	入っていない	計
北海道・東北	57.5	24.4	18.1	127
関東	67.9	19.0	13.1	221
北陸・甲信越	52.1	22.7	25.2	119
東海・関西	63.3	22.2	14.5	207
中・四・九	61.8	17.5	20.7	246
計	61.7	20.6	17.7	920

P<0.01

表5-2 高校運動部経験

	バレー部	その他の部	入っていない	行っていない	計
北海道・東北	45.5	21.1	22.0	11.4	123
関東	56.4	16.1	21.1	6.4	218
北陸・甲信越	41.9	21.9	29.5	6.7	105
東海・関西	52.8	14.2	26.4	6.6	197
中・四・九	46.6	13.5	32.8	7.1	238
計	49.7	16.3	26.6	7.4	881

表6 過去の怪我

	無い	膝	足	手	その他	無記	計
北海道・東北	36.5	18.3	28.6	9.5	3.2	4.0	126
関東	28.4	16.9	31.1	10.2	7.2	6.2	225
北陸・甲信越	24.1	21.6	25.9	12.1	5.2	11.2	116
東海・関西	33.9	13.3	34.4	9.7	1.4	7.3	218
中・四・九	39.4	7.3	29.3	12.3	4.6	6.9	256
計	33.3	14.2	30.4	10.8	4.3	7.0	944

P<0.01

表7 調子の悪いところ

	無い	膝	足	腰	その他	無記	計
北海道・東北	40.5	30.2	4.8	11.9	10.3	2.4	126
関東	58.3	18.8	4.5	8.1	7.2	3.1	223
北陸・甲信越	58.6	26.7	3.4	1.7	6.9	2.6	116
東海・関西	55.6	22.0	11.2	1.9	5.6	3.7	214
中・四・九	52.2	20.4	9.0	7.5	7.8	3.1	255
計	53.6	22.5	7.2	6.2	7.4	3.1	934

P<0.001

東北』に調子の悪いところ、特に膝、がある者が多くみられた。一般的に高齢になると膝の痛みを訴える女性が多いが、長年バレーボールで膝を酷使することにより、より多くの者が膝を痛めているようである。

### 7. 健康状態

健康状態は3分の2の者が元気と答えている(表8)。『東北・北海道』に比較的元気な者が少ない。

## II. 余暇に対する態度

### 1. 仕事と余暇の考え方

仕事と余暇のどちらを優先するかを尋ねたものだが、全体的には余暇を優先する者が多くいた(表9)。その傾向は特に『関東』地域に多くみられ、仕事を生きがいとする者は『北陸・甲信越』、『北海道・東北』に多くみられた。2007年の「レジャー白書」によれば60歳以上の女性で「余暇に生きがい」を持つ者13.0%、「できるだけ余暇を楽しむ」者22.4%、「仕事と余暇同じくらい」30.7%、「仕事の方に力を注ぐ」者24.0%、「仕事に生きがい」を持つ者6.6%であった。このことと比べると、今回の調査では非常に余暇を重視する者が多くみられた。

### 2. 普段の生活活動状況

表10は普段の活動について24項目にわたり「1. よくしている」から「4. 全くしていない」の4つのカテゴリーで尋ねたものである。したがって、数値が小さいほど肯定を表す。

「家事をする」、「テレビやラジオの視聴」がよく行われているのは予想通りであるが、「おいしいものを食べに行く」、「友人との旅行」、「気分転換での買い物」、「家族との旅行」、「ドライブ」など外への積極的活動が多い。この外への活動は特に『関東』、『東海・関西』、『中・四・九』のブロックに多くみられた。また、その中で「家族との旅行」よりも「友人との旅行」の方がより多くみられたのは興味深い。さらに「バレー以外のスポーツ」はあまり行わない者が多いが、「運動(散歩、筋トレ、ストレッチ、体操)」は比較的行っている者が多い。

## III. ママさんバレーボールに対する態度

### 1. 家庭婦人バレーボール歴

家庭婦人バレーボール歴が10年未満のママさんはほとんどいない。30年以上ママさんバレーボールを行っている者は76.3%であった。4分の3の者がママさんになってすぐにバレーボール活動を始めている(表11)。

### 2. 活動回数

過半数の者が週2回以上行っている。1989年の東京三鷹、神戸垂水、岡山市のママさんへの調査では、ほとんどのチームが週1回で、週2回している者は2%もいなかったが(徳永, 1991, p.159)、今回の60歳以上のママさんは活動回数が多いと言える(表12)。

表8 健康状態

	すこぶる元気	元気	普通	少し元気がない	その他	計
北海道・東北	10.9	38.8	45.0	3.9	1.6	129
関東	23.6	50.2	24.0	2.2	0.0	225
北陸・甲信越	22.9	43.2	31.4	0.8	1.7	118
東海・関西	14.6	57.1	26.5	1.8	0.0	219
中・四・九	17.7	43.8	35.0	2.3	1.2	260
計	18.1	47.6	31.3	2.2	0.7	951

P<0.001

表9 仕事と余暇の考え方

	余暇に生きがい	余暇を楽しむ	同じくらい	仕事の方に	仕事に生きがい	計
北海道・東北	9.3	35.6	36.4	18.6	0.0	118
関東	20.1	29.1	41.7	8.5	0.5	199
北陸・甲信越	10.2	23.7	37.3	27.1	1.7	118
東海・関西	14.7	24.1	46.1	14.7	0.5	191
中・四・九	13.1	36.0	39.4	10.6	0.8	236
計	14.2	30.0	40.7	14.4	0.7	862

P<0.001

表10 普段の活動状況

		北海道 ・東北	関東	北陸・ 甲信越	東海・ 関西	中・四 ・九	全体	
1. 友人との旅行。	平均	2.22	1.85	2.13	1.77	2.04	1.97	***
	S. D.	0.87	0.73	0.77	0.75	0.77	0.78	
2. 家族との旅行。	平均	2.29	2.22	2.38	2.10	2.12	2.19	*
	S. D.	0.87	0.94	0.93	0.86	0.87	0.90	
3. 海外旅行。	平均	3.11	2.97	2.95	2.78	3.02	2.95	
	S. D.	0.96	1.10	0.98	1.06	1.00	1.03	
4. バレー以外のスポーツ活動。	平均	2.55	2.46	2.70	2.72	2.63	2.61	
	S. D.	1.15	1.17	1.20	1.11	1.14	1.15	
5. 運動（散歩、筋トレ、ストレッチ、 体操など）をする。	平均	2.13	1.97	2.10	2.11	1.95	2.03	
	S. D.	1.00	0.99	0.96	0.95	0.96	0.97	
6. おいしいものを食べに行く。	平均	1.86	1.75	1.93	1.71	1.74	1.78	*
	S. D.	0.68	0.76	0.72	0.74	0.73	0.73	
7. 気分転換に買い物に行く。	平均	2.26	2.00	2.15	2.07	2.09	2.09	
	S. D.	0.95	0.81	0.80	0.81	0.86	0.84	
8. コンサート、観劇、映画などに行く。	平均	2.60	2.44	2.72	2.47	2.52	2.53	
	S. D.	0.89	0.92	0.87	0.93	0.86	0.90	
9. 公民館やカルチャーセンターに習い 事に行く。	平均	3.08	2.93	2.91	2.96	3.02	2.98	
	S. D.	0.09	0.80	0.10	0.07	0.07	0.04	
10. 家事（食事、洗濯・掃除等）をする。	平均	1.12	1.17	1.11	1.10	1.11	1.12	
	S. D.	0.43	0.49	0.34	0.33	0.37	0.40	
11. 俳句、書道、絵画などの創作活動。	平均	3.50	3.28	3.21	3.40	3.38	3.36	
	S. D.	0.88	1.03	1.03	0.94	0.95	0.97	
12. 上記のような創作活動やソロバン塾、 英会話などを教えている。	平均	3.93	3.84	3.91	3.89	3.85	3.88	
	S. D.	0.34	0.59	0.46	0.46	0.59	0.52	
13. NPOなどでのボランティア活動。	平均	3.47	3.56	3.25	3.53	3.57	3.50	*
	S. D.	0.96	0.84	1.02	0.86	0.84	0.89	
14. パチンコに行く。	平均	3.78	3.83	3.86	3.80	3.78	3.81	
	S. D.	0.65	0.57	0.53	0.65	0.64	0.61	
15. テレビやラジオの視聴。	平均	1.70	1.70	1.70	1.70	1.67	1.69	
	S. D.	0.91	0.81	0.84	0.83	0.80	0.83	
16. 読書をする。	平均	2.54	2.43	2.56	2.53	2.42	2.48	
	S. D.	0.89	0.93	0.91	0.84	0.91	0.90	
17. 園芸、手芸をする。	平均	1.97	2.12	2.09	2.10	2.04	2.07	
	S. D.	0.99	1.04	0.99	1.03	0.98	1.01	
18. 孫の相手や子守。	平均	2.56	2.60	2.70	2.51	2.39	2.53	
	S. D.	1.25	1.19	1.20	1.18	1.19	1.20	
19. パソコン等でのゲームや通信。	平均	3.26	3.26	3.37	3.25	3.28	3.28	
	S. D.	1.03	1.04	0.96	0.99	1.02	1.01	
20. 遊園地、動物園などに行く。	平均	3.37	3.21	3.38	3.26	3.12	3.24	*
	S. D.	0.79	0.86	0.82	0.79	0.88	0.84	
21. カラオケに行く。	平均	3.49	3.21	3.45	3.20	3.22	3.28	**
	S. D.	0.76	0.92	0.85	0.88	0.92	0.89	
22. 町内会活動などの地域への貢献活動	平均	2.39	2.43	2.28	2.39	2.31	2.36	
	S. D.	1.03	1.09	0.97	1.03	1.00	1.03	
23. 宗教活動をする。	平均	3.93	3.91	3.91	3.90	3.84	3.89	
	S. D.	0.39	0.45	0.37	0.45	0.56	0.47	
24. ドライブに行く。	平均	2.30	2.21	2.24	2.29	2.25	2.25	
	S. D.	1.01	1.01	0.87	1.02	0.92	0.97	

表11 家庭婦人バレーボール歴

	～9年	10～19年	20～29年	30～39年	40年～	計
北海道・東北	0.0	3.9	22.7	63.3	10.2	126
関東	0.9	3.1	20.1	58.5	17.4	225
北陸・甲信越	2.5	4.2	21.0	57.1	15.1	116
東海・関西	0.5	0.5	17.6	67.1	14.4	218
中・四・九	0.4	3.6	20.6	64.8	10.7	256
計	0.7	2.9	20.1	62.7	13.6	944

表12 活動回数

	週2回以上	週1回	月2～3回	月1回	あまりしない	計
北海道・東北	67.2	26.6	3.9	1.6	0.8	128
関東	52.9	35.2	8.8	2.6	0.4	227
北陸・甲信越	46.7	42.5	7.5	1.7	1.7	120
東海・関西	39.9	45.0	11.0	2.8	1.4	218
中・四・九	57.1	35.5	3.9	0.4	3.1	259
計	52.2	37.3	7.1	1.8	1.6	952

P<0.01

3. 活動目的

ママさんバレーボールを続ける目的の第1位に63.2%以上の者が「楽しさ」をあげている。「健康」をあげた者は14.1%、「親睦」11.7%、「ストレス解消」8.1%であった。特に『関東』、『東海・関西』で「楽しさ」をあげた者が多い(表13-1)。

表13-2は個人の活動目標第1位から第3位を合

計したものである。もっとも多いのは「楽しさ」で83.6%、次に「親睦」69.4%、続いて「健康」63.2%、少し離れて「ストレス解消」47.1%であった。

4. 今後の継続

どの地域も80%前後の者が「体力の続く限り」と答えており、継続の意思は十分である(表14)。

表13-1 活動目的 第1位

	楽しさ	健康	親睦	ストレス解消	試合に勝つ	技能向上	その他	計
北海道・東北	60.3	14.3	15.1	7.9	0.8	1.6	0.0	126
関東	69.2	12.1	8.0	6.3	4.5	0.0	0.0	224
北陸・甲信越	59.5	14.7	18.1	6.9	0.0	0.0	0.9	116
東海・関西	66.4	12.0	11.1	9.2	0.9	0.0	0.5	217
中・四・九	60.2	17.2	10.9	9.4	2.0	0.0	0.4	256
計	63.7	14.1	11.7	8.1	1.9	0.2	0.3	939

P<0.001

表13-2 活動目的 第1位～第3位

	楽しさ	健康	親睦	ストレス解消	試合に勝つ	技能向上	その他	計
北海道・東北	81.0	69.0	70.6	53.2	10.3	21.4	0.0	126
関東	84.4	43.3	70.1	46.9	16.1	5.4	1.3	224
北陸・甲信越	81.9	69.0	66.4	47.4	7.8	10.3	2.5	116
東海・関西	86.2	68.2	71.9	43.3	11.1	3.7	1.4	217
中・四・九	82.8	71.1	67.6	47.7	10.9	3.9	0.8	256
計	83.6	63.2	69.4	47.1	11.7	7.3	1.2	939

5. 練習への不満

3分の2の者が練習への不満を持っていない。体力の衰え、同世代の仲間がいないことを不満に思っている者が若干いる（表15）。

『関東』に満足というものが多く、『北海道・東北』、『北陸・甲信越』に少ない。

6. 大会での期待

「ベストを尽くして試合を楽しむ」、「大会を大いに楽しむ」ともにほとんどの者が強く肯定している。次に、「試合にはできるだけ勝ちたい」、「チームメイトとより親密になりたい」で、大いに思っている者は4分の3いる。しかし、他県の選手と交流を大いに望む者は半数弱である（表16-1～5）。

表14 今後の継続

	体力の続く限り	2～3年はする	今回でやめる	その他	計
北海道・東北	79.8	17.1	1.6	1.6	129
関東	84.1	10.5	1.4	4.1	220
北陸・甲信越	78.8	17.8	1.7	1.7	118
東海・関西	77.2	15.3	3.7	3.7	215
中・四・九	71.9	20.6	4.3	3.2	253
計	78.0	16.1	2.8	3.1	935

表15 練習への不満

	満足	同世代が少ない	体力の衰え	施設を十分使えない	その他	計
北海道・東北	57.6	9.6	24.0	0.8	8.0	125
関東	76.9	6.0	11.6	2.8	2.7	216
北陸・甲信越	60.7	10.3	23.9	0.9	4.2	117
東海・関西	67.1	8.0	16.0	1.9	7.0	213
中・四・九	70.8	10.4	13.6	0.8	4.4	250
計	68.3	8.7	16.4	1.5	5.1	921

P<0.05

表16-1 大会を大いに楽しむ

	大いに思っている	少し思っている	あまり思っていない	全く思っていない	計
北海道・東北	94.4	5.6	0.0	0.0	128
関東	94.1	5.0	0.9	0.0	227
北陸・甲信越	96.6	3.4	0.0	0.0	120
東海・関西	93.9	6.1	0.0	0.0	218
中・四・九	92.1	7.9	0.0	0.0	259
計	93.9	5.9	0.2	0.0	952

表16-2 他県の選手と大いに交流したい

	大いに思っている	少し思っている	あまり思っていない	全く思っていない	計
北海道・東北	47.1	49.6	3.4	0.0	119
関東	46.0	49.3	4.7	0.0	211
北陸・甲信越	54.4	40.4	5.3	0.0	114
東海・関西	49.0	43.6	6.9	0.5	204
中・四・九	49.6	45.1	4.9	0.4	246
計	48.9	45.7	5.1	0.2	894

表16-3 試合にはできるだけ勝ちたい

	大いに思っている	少し思っている	あまり思っていない	全く思っていない	計
北海道・東北	74.0	24.4	1.6	0.0	123
関東	80.6	15.2	4.1	0.0	217
北陸・甲信越	80.9	18.3	0.9	0.0	115
東海・関西	77.2	18.9	3.9	0.0	206
中・四・九	69.2	26.7	4.2	0.0	240
計	75.9	20.8	3.3	0.0	901

P<0.05

表16-4 ベストを尽くして試合を楽しみたい

	大いに思っている	少し思っている	あまり思っていない	全く思っていない	計
北海道・東北	92.8	7.2	0.0	0.0	125
関東	94.1	5.5	0.5	0.0	220
北陸・甲信越	96.6	3.4	0.0	0.0	117
東海・関西	93.2	6.8	0.0	0.0	206
中・四・九	94.1	5.9	0.0	0.0	253
計	94.0	5.9	0.1	0.0	921

表16-5 チームメイトとより親密になりたい

	大いに思っている	少し思っている	あまり思っていない	全く思っていない	計
北海道・東北	68.0	24.6	7.4	0.0	122
関東	72.8	19.2	6.1	1.9	213
北陸・甲信越	74.6	17.5	7.0	0.9	114
東海・関西	74.0	21.5	4.5	0.0	200
中・四・九	74.0	17.5	7.7	0.8	246
計	73.0	19.8	6.5	0.8	895

表16-6 この地方の観光も楽しみ

	大いに思っている	少し思っている	あまり思っていない	全く思っていない	計
北海道・東北	44.9	36.4	18.6	0.0	118
関東	49.2	41.7	9.0	0.0	199
北陸・甲信越	33.9	37.3	28.8	0.0	118
東海・関西	38.7	46.1	15.2	0.0	191
中・四・九	49.2	39.4	11.4	0.0	236
計	44.2	40.7	15.1	0.0	862

P<0.001

#### IV. まとめ

以上の結果、ママさんバレーボール「ことぶき大会」参加者の特徴として以下のことが明らかになった。

生き方としては余暇を優先する者が同世代の女性よりも多くみられた。そのため、普段の生活においてはママさんバレー以外にも積極的活動が多く、友人との旅行や、簡単な運動をする者が多い。

学生時代での部経験者が多く（特にバレーボール

経験者）、学生時代のスポーツ経験は生涯スポーツに大いに貢献しているようである。また、4分の3の者が結婚後すぐにママさんバレーを始めている。

しかし、過去に3分の2の者が怪我で医者にかかった経験を持ち、現在でも半数近くの方が調子のよくないところ（特に膝）があり、必ずしも健康状態に全くの問題も無い人たちばかりではなく、むしろそのような人たちは少ない。体調万全の人たちばかりではないが、バレー経験が長く、バレーボールが



楽しくて仕方がない人たちがこの大会に参加しているように思われる。

ママさんバレーはほとんどの者が純粋にバレーの楽しさを目的としており、健康のためだとか、近所付き合いのためという手段としてとらえている者は比較的少ない。

一方で、大会があるから惰性で続けている面もある。インタビューでも「70歳以上の大会があれば70歳まででもバレーをする、大会があるからこそママさんバレーを今も続けている」、というママさんがいた。大会の存在はママさんバレーボーラーにとってバレーをする“免罪符”になっているのではないだろうか。それは単にバレーが「楽しいからする」では家族の同意は得難いと思われるからである。大会があることによってバレーをする“大義名分”が出来る。特に高齢のバレーボーラーにとって、「5、60歳になってまでバレーをしなくてもいいのに」という周囲の声に対し、「いそじ大会」、「ことぶき大会」の存在は彼女らの強い味方になっている。60歳以上だからと言って、老人という意識はなく、普通にスポーツを愛する人たちである。

しかし残念なことに、他県の選手との交流意識は高くない。どちらかと言うとバレーボールを通して他県のママさんとの交流の輪を広げるというよりも、バレーボールそのものを楽しむ、仲間内で数日間同じホテルに宿泊し親交を深める、というようなことを大切にしている人々が多い。

地域の違いを見ると、『関東』、『東海・関西』な

どのいわゆる都会のママさんの方がよりバレーボール活動を含めた余暇活動を楽しんでいるように思え、以前の研究とほぼ同様であった。

注1) 以前のママさんバレーボーラーのスポーツ観の調査(女性バレーボールクラブ・メンバーのスポーツ観について-岡山市, 神戸市, 三鷹市における調査から-。体育学研究第36巻第2号)においてそれぞれの地域によりスポーツ観の違いがみられたので、今回日本全国を5つのブロックに分け、考察を試みた。

#### 参考文献

- 1) レジャー白書2007 社会経済生産性本部
- 2) 徳永 敏文(1991)女性バレーボールクラブ・メンバーのスポーツ観について  
-岡山市, 神戸市, 三鷹市における調査から-。体育学研究第36巻第2号: 157-170.
- 3) 徳永 敏文(1994)地域スポーツクラブ発展に関する一考察 -岡山市におけるママさんバレーボールを事例として-。岡山大学教養部紀要 NO. 35: 253-275.
- 4) 徳永 敏文(1996)地域スポーツクラブ発展に関する一考察 -ママさんバレーボールチームの多様化について(その3)-。岡山大学教育学部研究集録 10号: 121-130.